

〔一〕(評論) 採点基準 (合計≒50点)

問一 3点×4≒12点

a ハ b ホ c ホ d イ

問二 4点

科学技術は何

問三 4点

口

問四 8点

(模範解答例)

A①〇1点

A②〇2点

B①〇2点

B②〇1点

クローン技術を

人間に適用したら、何か想像できない状況がおきる

可能性があるのではないかと

C〇2点

いった 疑問や不安をいただいたから。

(59字) (8点)

各加点要素の加点の条件

【A・Bに得点が無い場合、Cのみでは加点できない。】

A 「クローン技術を人間に適用したら」 (3点)

① 「クローン技術」 (1点)

② 「人間に適用したら」 (2点)

※①がない場合、②は得点できない。A0点。

B 「何か想像できない状況がおきる可能性があるのではないかといった」 (3点)

① 「何か想像できない状況がおきる」 (2点)

※ 「何か起きる」のみは不可※。

② 「可能性があるのではないか」 (1点)

✖①がない場合、②は得点できない。B0点。

C「疑問や不安をいだいたから」(2点)

△「疑問」か「不安」のどちらか欠いていた場合は△1点。

○「不安」は「懸念」でも可○。

問五 4点

ハ

問六 10点

(模範解答例)

A○1点

B○2点

C○2点

人間の生命と生存に直接関係し、個人の判断が求められる問題が出てきている中で、高度に発達した科学

D○1点

E○2点

F○2点

技術は、複雑になるにつれ、専門が少々異なる科学技術者にとっても、内容理解のための多大な努力が必要

になってきているから。(10点)

各加点要素の加点の条件

A「人間の生命と生存に直接関係し」(1点)

○「生命」か「生存」だけでも可○。

B「個人々の判断が求められる問題が出てきている中で」(2点)

○「判断しなければならぬ状況」や「様々な問題」など、問題状況に触れていれば可○。

C「高度に発達した科学技術は」(2点)

△「科学技術」を「科学」にした場合は△1点。

▲「高度に発達した」がない場合は▲1点減点。(※Cが「科学は」のみだと得点できない)

D「複雑になるにつれ」(1点)

E「専門が少々異なる科学技術者にとっても」(2点)

△「科学技術者」は「科学者」にした場合は△1点。

✖「専門が異なる科学技術者」は不可✖。

F 「内容理解のための多大な努力が必要になってきているから。」(2点)

○ 「…努力が必要」ということに言及していればよい。

○ (専門が少々異なる科学技術者にとっても)「内容(を)理解(しようとする)ことが難しくなってきた」という趣旨であれば○。✕ 「理解できない」は不可✕。

問七 4点×2＝8点

ロ・ハ

□ (評論) 採点基準 (合計 50 点)

問一 8 点 (2 点 × 4)

- 1 悲惨 (「悲酸」も可)
- 2 窮状
- 3 勧告
- 4 受諾

問二 6 点

・人間の普遍的な愛他精神 (11 字)

もしくは

・人間の中に存在する愛他性 (12 字)

※抜出問題のため解答通り以外は不可※。

問三 6 点

口

問四 12 点

(模範解答例)

A ○ 4 点

B ○ 4 点

人間には、愛他的行動をとらうとする性質と、利己的な騙しごまかして自己を有利にしようとする性質とが

C ○ 4 点

同時に存在するということ。(58 字)

各加点要素の加点の条件

【A・B・C に関して部分採点を行う (A・B・C それぞれ単独に採点を行って構わない)】

※全体の字数が 29 字以下のものは全体不可 (0 点)

A 人間には、愛他的行動をとろうとする性質と(4点)

※「双生児」の一方である「愛他的行動」について説明していないものは、要素A加点なし

B 利己的な騙しによって自己を有利にしようとする性質とが(4点)

※「双生児」のもう一方である「利己的な騙し」について説明していないものは、要素B加点なし

△「騙す行為」のみは△2点。「利己的」という説明が必要。

▲Aとの対比として書かれていない場合▲2点減点

C 同時に存在するという事(4点)

※「(双生児として)産み落とされた」を言い換えていないものは、要素C加点なし

△「同時に生まれた」など、比喻表現の言い換えが十分でない場合は▲2点減点で△2点。

問五 12点

(模範解答例)

A○4点

B○4点

個体や個別集団を維持するために必要とされる騙しは、人類総体の存続に必要な愛他的行動を

C○4点

妨げるものになる可能性をもつから。(59字) (12点)

各加点要素の加点の条件

【A・B・Cに関して部分採点を行う(A・B・Cそれぞれ単独に採点を行って構わない)】

※全体の字数が29字以下のもは全体不可(0点)

A 個体や個別集団を維持するために必要とされる騙しは(4点)

※「その一方」の説明として、「個体・個別集団の維持に必要な騙し(狡智)」ということを描いていないものは、要素A加点なし

B 人類総体の存続に必要な愛他的行動を(4点)

※要素Aが、「人類総体の存続に必要な愛他的行動」と関係しているということを説明していないものは、要素B加点なし

C 妨げるものになる可能性をもつから(4点)

※「切り捨てる」理由を説明していないものは、要素C加点なし

※「切り捨てる」の説明なので、「競合する」などは不可※。

○「個に必要な騙し」は「総体に必要な愛他」にとって「邪魔だ」としてゐるものが正しい説明。
！「個に必要な騙し」⓪「総体に必要な愛他」ㄥ という構造の答えは要素としては正しそうですが、
文の内容が不可であればもちろん✖。

問六 6点

二

〔三〕(古文) 採点基準(合計50点)

問一 1点×3＝3点

甲 しぐれ 乙 みす 丙 ひたたれ

〔ポイント〕

✖ いずれも正解以外は✖。甲「じう」・乙「みすだれ」も✖。

問二 2点×3＝6点

① ニ ② ホ ③ ロ

〔ポイント〕

✖ いずれも正解以外は✖。

問三 1点×3＝3点

i イ ii ハ iii ホ

〔ポイント〕

✖ いずれも正解以外は✖。

✖ 同じ記号を重複して答えている場合は、一つが正解であっても、いずれも不正解とする。(設問で、「記号を重複して答えてはならない」と断りがある。)

問四 3点×3＝9点

a ハ b ニ c ロ

〔ポイント〕

✖ いずれも正解以外は✖。

✖ 同じ記号を重複して答えている場合は、一つが正解であっても、いずれも不正解とする。(設問で、「記号を重複して答えてはならない」と断りがある。)

問五 3点×3＝9点

(1) (解答例) 3点

A○1点 B○1点 C○1点

過去 や 将来

※「来し方行く末」の現代語訳

「採点方法」 各要素単独採点。 ※ Bには条件あり。

「字数」 指定なし。

「ポイント」

A【1点】来し方 ↓ 過去

○ 「これまで・かつて・昔・以前」等でもよい○。

※ 過去の時間を表していることが不明な「ここまでの道のり・やってきたほう」等は✕。

B【1点】(補い) ↓ や

※ AとCの両方が得点できている場合のみ得点できる。

○ 「と・から」でもよい。

C【1点】行く末 ↓ 将来

○ 「未来・これから・今後」等でもよい○。

※ 将来の時間を表していることが不明な「これからの道のり・これから進むほう」等は✕。

※ 「行く末・行く先」は✕。

(2) (解答例) 3点

A○1点 B○2点

声を 聞かせてくれるな

※「声な聞かせそ」の現代語訳

「採点方法」 各要素単独採点。 ※ Aには条件あり。

「字数」 指定なし。

「ポイント」

A【1点】声 ↓ 声を

○ 「声」は「鳴き声」でもよい。

※ Bが得点できている場合のみ得点できる。

B【2点】な聞かせそ ↓ 聞かせてくれるな

○ 「聞かせるな・聞かせないでくれ」でもよい。

△ 「聞かせてはいけない」は【1点】。

(3) (解答例) 3点

A 〇1点 B 〇2点

さあ いらっしやう

※「いざさせ給へ」の現代語訳

「採点方法」 各要素単独採点。

「字数」指定なし。

「ポイント」

A 【1点】いざ ↓ さあ

○ 「さあ」の意があればよい。

B 【2点】させ給へ ↓ いらっしやう

△ 「来い・行こう」の意があれば【1点】。

○ 右の意がある上で、尊敬の意もあれば【2点】。

よって、「おいでなさい・おいでなさいませ・おいでください・来なさい・来て下さい・いらっしやうてください」等でも【2点】。

問六 5点×2＝10点

A (解答例) (5点)

A 〇3点

B 〇2点

祐成の愛を誓った 言葉が変わってしまったこと。

※「変はり果てぬる言の葉かな。」に表れている「虎」の「祐成」を恨めしく思う気持ちは、どのようなことに対して恨めしく思っているのかを本文に即して説明する。

「採点方法」 各要素単独採点。 ※Aは条件あり。

「字数」指定なし。

「ポイント」

A 【3点】祐成の愛を誓った

※Bが0点の場合は得点できない。

○ 「祐成の」は「十郎の・曾我十郎の・曾我十郎祐成の」でもよい。

※ 「曾我の・夫の・恋人の」等は×。

▲ 「祐成の」がない場合、誤っている場合は【マイナス1点】。

○ 「愛を誓った」は「愛の・誓いの・約束の・将来を誓った・恋の・契りを交わした・愛している・また来る・見捨てない」等でもよい。

▲ 「愛を誓った」がない場合は【マイナス2点】。

B 【2点】言葉が、変わってしまったこと。

○ 「言葉が」は「誓いが・約束が」、または「言ったのが」等でもよい○。

※この意がない場合は×。

○ 「変わってしまった」は「変わった・信じられなくなった・嘘だった・本当でなかった・実行されなかった・訪れなくなった」等でもよい○。

△ 「言葉・誓い・約束」などの意がなく「心変わりした」「気持ちが変わった」がある場合は【1点】。

C (解答例) (5点)

A ○2点

B ○3点

祐成が自分のもとへ 通って来なくなったこと。

※「かき絶え給へる恨めしき」に表れている「虎」の「祐成」を恨めしく思う気持ちは、どのようなことに対して恨めしく思っているのかを本文に即して説明する。

〔採点方法〕 各要素単独採点。※Aは条件あり。

〔字数〕 指定なし。

〔ポイント〕

A 【2点】祐成が自分のもとへ

※Bが0点の場合は得点できない。

○ 「自分のもとへ」はなくてもよい。

○ Bの説明に「祐成」が関わっていることが分かればよい○。

○ 「祐成」は「十郎・曾我十郎・曾我十郎祐成」でもよい○。

B 【3点】通って来なくなったこと。

○ 「通って来ない」は「来ない・会いに来ない・訪れない・訪ねてこない・現れない・訪れが間遠になった・通いが途絶えた」等、または、「連絡が来ない・連絡が途絶えた」等の意があればよい○。

△ 「訪れ・通い・連絡」の意が読みとれないが、「疎遠になった・関係が浅くなった・相手にしてくれなくなった・気にかけてくれなくなった」等がある場合は△【2点】。

問七 8点

(解答例)

A ○2点

B ○1点

C ○1点

D ○1点

E ○1点

F ○2点

「ものはめつたにないものほうが価値がある」とは言ひものの、どうして祐成はそのようにばかり

稀にしか通つて来ないのだろうか。

〔採点方法〕 各要素単独採点。

〔字数〕

六〇字以内。

「ポイント」

A【2点】「ものは稀なるを貴しとす」 ↓ 「ものはめつたにないもののほうが価値がある」

○ 「ものは」は「物事は・何事も」等でもよく、なくてもよい○。

×これが「男の訪れが」等、他の意となつてゐる場合は×。

○ 「めつたにない」は「めずらしい・稀な・希少な・ほとんどない」等でもよい○。

×これがない場合は×。

○ 「価値がある」は「貴重だ・尊い・貴い・素晴らしい・甲斐がある・よい」等でもよい○。

×これがない場合は×。

B【1点】と言へども、 ↓ とは言ひものの、

○ 「というが・と言うけれども・と言う言葉があるが・と言われるが」等でもよい。

C【1点】何とて ↓ どうして

○ 「なぜ・なんのために・どのような価値があつて」等でもよい。

D【1点】(主語補い) ↓ 祐成は

○ Fの「うとき」の説明として「祐成」が関係していることがわかるようになっていればよい。

○ 「祐成」は「十郎・曾我十郎・曾我十郎祐成」、または「あの人・あなた」等でもよい。

E【1点】さのみ ↓ そのようにばかり

○ 「それほど・そんなに・そのように・これほど・こんなに」等の意があればよい。「ばかり」の意はなくてもよい。

F【2点】うときやらん ↓ 稀にしか通つて来ないのだろうか

○ 関係が浅いこと、もしくは、薄情なことが言われていればよい。祐成が主体でない「私は祐成に会えないのか・疎遠なのだろうか」等でもよい。

△右の意があるが「のだろうか・のか」がない場合は【1点】。

問八 1点×2＝2点

X Y
ハ ニ

四 漢文 50点

問一 3点

口

問二 3点

二

問三 4点×2＝8点

a イ b ニ

問四 5点

ハ

問五 6点

〔解答例〕 A○2点 B○4点
大量の酒を飲むこと。(6点)

〔加ポイント〕

✖ Bに加点が無い場合、Aだけでは得点できない。

A

○ 「大量の」は「たくさん」「多くの」「多量の」なども可○。

B

✖ 「酒が唇に入ること」は不可✖。

△ 「酒を飲むこと」の意味に不要な訳が足されている場合△2点。

例… 「ただ酒のみを飲むこと」(限定は不要)

A B

「酒を飲みすぎるほど飲む」という表現であればA B○。

問六 3点×3＝9点

イ・ニ・ノ

問七 5点

「解答」 すべからく A(前半) B(2点) A(3点)
かう(イ)う(ノ)らぐす
し。 (5点)

「加点ポイント」

○ 現代仮名遣いでも可○。

✖ 「すべてひらがな」指定。漢字を一つでも含む場合、全体✖0点。

A

○ 「すべからくべし」の再読文字が読めていて○3点。

△ 「すべからく」のみ読めている場合△1点。

B

✖ 「ぎょうらくす」「こうらくする」など不可。✖0点。

問八 8点

「解答」 空しくはかない A(1点) B(2点) C(1点) D(2点) E(2点)
俗世の名利のために、自分の身を
束縛されている
必要はない

とどう感慨。 (8点)

「加点ポイント」

A

○ 「空しく」「はかない」はどちらかでも可○。

○ 同内容の「つまらない」「意味がない」「価値がない」なども可○。

B

○ 「俗世」は「世俗」、「名利」は「名誉」「名声」「利益」なども可○。

△ 「俗世」・「名利」の一方にあたる語のみの場合△1点。

C

○ 「自分の」はなくとも可○。

D

○ 「しばれる」「自由を奪われる」「とらわれる」なども可○。

- 「必要はない」は「不要だ」「無用だ」「いらぬ」なども可○。
○ 「必要ない」のは、「自分の身が束縛されること」だが、「自分の身が束縛される」のは、「俗世の名利のため」なので、「俗世の名利は必要ない」というような表現も許容とする。
△ 「くだらない」「おろかだ」「無意味だ」「くだわるのはおかしい」など否定的な表現は△1点。
▲ 「慨」を「概」など誤字は▲減点1点。

問九 1点×3＝3点

i ハ ii ロ iii イ

以上